

第389回三木市議会定例会 市長 開会あいさつ

令和7年8月29日

議会の開会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

9月を間近に控える中、一向に暑さは収まらず、猛暑が続いております本日、第389回市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆さまにおかれましては、公私ご多用の中ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、併せまして、平素から市政の運営につきまして、格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

現在、三木市では、降雨量が少ない状況が続いているため、本市の水源の一つである呑吐ダム及び大川瀬ダムの貯水率が低下し続けており、20%の取水制限が行われております。このような状況に対応するため、本市では8月18日に渇水対策本部を設置しました。このまま雨が降らなければ、ダムの管理事務所である「近畿農政局加古川水系広域農業水利施設総合管理所」の予測によると、10月10日頃にダムが枯渇する見込みです。ダムが枯渇すると、東部配水池の配水区地域である自由

が丘、緑が丘、青山、志染等のほぼ全域において水道水の供給が困難となります。これまでも節水についてご協力いただいているところですが、引き続き市民の皆様一人一人の節水へのご協力をお願いします。

さて、昨年の佐賀国民スポーツ大会に引き続き、今年、滋賀県で開催される国民スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ」の馬術競技が、来月29日から10月3日にかけて「三木ホースランドパーク」で行われます。

「三木ホースランドパーク」は、西日本で唯一、馬術の国際大会が開催できる施設です。国民スポーツ大会のような全国規模の馬術大会が開催されることによって、「馬術のまち」としての三木市の知名度の向上に大きく貢献しています。また、市内のすべての小学校の自然学校を「三木ホースランドパーク」で行っており、子どもたちが馬と触れ合うという貴重な体験の場としても活用されています。

このたび、三木市をさらに「馬術のまち」としてPRするため、国民スポーツ大会の開催に合わせて、「みきUMAフェス2025」を開催します。馬術の障害飛越競技の観戦ツアーや「三木ホースランドパーク」に在籍する馬を対象とした「推し

馬総選挙」など、馬や馬術競技の新たな魅力に触れることができる内容となっています。ぜひ市内外から多くの方に訪れていただきたいと思います。

また、市民の安全安心を守る取組も進めています。7月11日には、兵庫県が全県展開を進め、本市も参画する救急安心センター事業が開始されました。この事業は、急な病気やけがをした際に、「#7119」に電話することで、救急相談や適切な医療機関の案内を受けることができる、24時間365日対応の電話相談事業です。これにより、救急車の適正利用や救急医療機関受診の適正化を図るものです。

さらに、健康保険証の利用登録がされたマイナンバーカード、「マイナ保険証」を活用した「マイナ救急」について、10月1日から国の実証事業に参加します。救急車を必要とする傷病者本人の同意を基本とし、「マイナ保険証」を専用端末で読み取り、その方の通院履歴や服薬情報等を把握することで、搬送する病院の決定や救急車内での応急処置などをスムーズに行うことができ、救急活動の円滑化を図ります。

以上の取組により、病気やけがをした際の安心感を市民に提供し、安全安心なまちづくりにつなげてまいります。

最後になりましたが、このたびの市議会定例会では、条例関係7件、補正予算6件、決算の認定7件、その他3件、併せて23件の提案を予定しております。

また、後日、人事案件2件の提案を予定しております。

議員の皆さまにおかれましては、どうか慎重なるご審議をいただき、ご賛同を賜りますようお願い申し上げます、開会のあいさつといたします。